

（現場調査部門 出題ジャンル表）

※出題内容および出題数は、目安です。試験当日の問題では、多少変更している場合があります。

	出題ジャンル		出題内容	出題数 (回答数)	その他(試験コース統合に伴う変更点など)	
	大分類	中・小分類				
マークシート問題	A 社会一般、行政、入札契約等の知識	社会一般・建設行政等	地質調査技士資格制度、技術者継続教育制度、技術者倫理、地質調査業の経営・営業関連法令、電子納品要領、土壌・地下水汚染に関連した法令、産業廃棄物関連法令、ISO、社会資本整備に関連した法令など	6	・平成27年度より、当ジャンルの問題を新規出題する。 ※参考 当ジャンルは、平成26年度以前における現場技術管理部門の出題ジャンル「A. 社会一般、建設行政等の知識」、「G. 入札・契約制度、仕様書等の知識」に相当する。	
		入札・契約制度、仕様書等	発注方式、仕様書、テクリス、委託契約約款、瑕疵担保、守秘義務など			
	B 地質・建築等の知識・土木	地質	断層分類、地理・地形、岩石・鉱物、地震、地史、火山など	8	(従来通りの要領で出題) ※参考 当ジャンルは、平成26年度以前における現場調査部門の出題ジャンル「A. 基礎知識」に相当する。	
		測量	測量の基本、GIS・GPS、ボーリング地点の緯度経度など			
		土木・建築一般	構造物基礎、地下水位、防災、環境、液状化、地すべり、ボーリング、トンネル、ダムなど			
	C 現場・専門技術の知識	ボーリング基礎	ボーリング機械	ボーリング機器の名称・構造、原理・機能など	50 ※一部、選択問題	・当ジャンルは平成27年度より、必須解答問題(約34問)と選択解答問題(A群:土質分野(約16問)、B群:岩盤分野(約16問))を用意し、出題する。 ※参考 ・当ジャンルは、平成26年度以前の試験コース「土質コース」および「岩盤コース」で出題していたジャンル「B. 現場技術」に相当する。
			運搬・仮設	作業計画、運搬、仮設など		
			掘進技術	掘削原理・能率、掘進作業、コアリング、保孔、さく井、工事用ボーリングなど		
		サンプリング・原位置試験等	標準貫入試験、サンプリング、孔内水平載荷試験、透水試験、揚水試験、間隙水圧測定、孔内検層など			
		試料の判別分類	土・岩の判別分類、記録の記載・表示方法など			
D 調査技術の理解度	調査技術の理解度	地質踏査、弾性波探査、電気探査、調査の目的・計画、調査結果の適用と解釈、土質試験・岩石試験の概要など	8 ※一部、選択問題	・当ジャンルは平成27年度より、必須解答問題(約4問)と選択解答問題(A群:土質分野(約4問)、B群:岩盤分野(約4問))を用意し、出題する。 ※参考 ・当ジャンルは、平成26年度以前の試験コース「土質コース」および「岩盤コース」で出題していたジャンル「C. 調査技術の理解度」に相当する。		
E 管理技法	一般	法規、渉外、安全管理、工程管理、積算など	8	(従来通りの要領で出題) ※参考 当ジャンルは、平成26年度以前における現場調査部門の出題ジャンル「D. 管理技法」に相当する。		
マークシート合計			80問	※従来よりも10問増		
記述式問題	簡易記述式問題	安全点検・事故防止、機械・器具等の機能と役割、各種孔内試験やサンプリング時の留意事項、調査結果の報告など ※出題数目安:2問	2	(従来通りの要領で出題)		
口頭試問	口頭試問	日常、調査業務で主に対象としている地盤(土質・岩盤)の種類に応じて試問する。	—	(従来通りの要領で実施) ※参考 受験願書で選択記載する「主な調査対象」-(土質・岩盤)を基に、それぞれに応じて試問内容を用意し、質問する。		

（現場調査部門 試験問題用紙のマークシート解答用紙のレイアウト（イメージ））

試験問題用紙およびマークシート解答用紙のレイアウトは、平成27年度より右記の通り変更します。試験当日は混乱・間違いが生じないよう、以下の注意事項をあらかじめご確認ください。

・試験問題用紙のレイアウトは、右記の①から⑤の順に揃えて出題します。

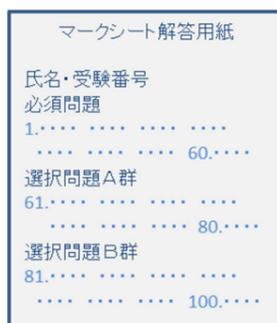
・選択問題A群、B群の選択は、受験願書で選択記載した「主な調査対象」(土質・岩盤)のいずれに関わらず、任意で一方を選択できます。

・選択問題は、A群、B群のそれぞれより、個別の問題を任意選択して解答することはできません。なお、解答用紙の選択問題A群およびB群の両方に解答が記されていた場合、選択問題の採点は行いません。

試験問題用紙のレイアウト



マークシート解答用紙のレイアウト



（現場技術・管理部門 出題ジャンル表）

※出題内容および出題数は、目安です。試験当日の問題では、多少変更している場合があります。

	出題ジャンル		出題内容	出題数	その他（試験コース統合に伴う変更点など）
	大分類	中・小分類			
マークシート問題	A 社会一般、行政、 入札契約等の知識	社会一般・建設行政等	地質調査技士資格制度、技術者継続教育制度、技術者倫理、地質調査業の経営・営業関連法令、電子納品要領、土壌・地下水汚染に関連した法令、産業廃棄物関連法令、ISO、社会資本整備に関連した法令など	16	（従来通りの要領で出題） ※参考 当ジャンルは、平成26年度以前における現場技術管理部門の出題ジャンル「A. 社会一般、建設行政等の知識」、「G. 入札・契約制度、仕様書等の知識」の2つを、1つの出題ジャンルに統合した。
		入札・契約制度、仕様書等	発注方式、仕様書、テクリス、委託契約約款、瑕疵担保、守秘義務など		
	B 地質・測量・土木・ 建築等の知識	地質	断層分類、地理・地形、岩石・鉱物、地震、地史、火山など	12	（従来通りの要領で出題）
		測量	測量の基本、GIS・GPS、ボーリング地点の緯度経度など		
		土木・建築一般	構造物基礎、地下水位、防災、環境、液状化、地すべり、ボーリング、トンネル、ダムなど		
	C 現場・専門技術の知識	ボーリング基礎	○ボーリング機器の名称・構造、原理・機能など ○作業計画、運搬、仮設など○掘削原理・能率、掘進作業、コアリング、保孔、さく井、工用ボーリングなど	24	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（地質調査コース）（土質試験コースおよび物理探査コースの一部）で出題してきたジャンル「C. 現場技術の知識（C. 専門技術の知識）」の問題に相当する。
		サンプリング・原位置試験等	標準貫入試験、サンプリング、孔内水平載荷試験、透水試験、揚水試験、間隙水圧測定など		
		試料判別	土・岩の判別分類、記録の記載・表示方法など		
		室内試験（試験法）	（土質試験法・岩石試験法） 試料調整、物理試験、力学試験、CBR試験、地盤材料の分類、圧裂試験、スレーキング試験、超音波試験など （試験方法の選定） 液状化判定、盛り土材品質強度、地すべり、コンクリート劣化、軟弱地盤施工など	7	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（土質試験コース）で出題してきたジャンル「C. 専門技術の知識」の室内試験関係の問題に相当する。
		物理探査	地震探査、電気探査、表面波探査、地中レーダ探査、電磁探査、地温探査、磁気探査、音波探査、探査の組合せなど	7	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（物理探査コース）で出題してきたジャンル「C. 専門技術の知識」の物理探査関係の問題に相当する。
	孔内検層	速度検層、PS検層、電気検層、放射能検層、ポアホールレーダ、キャリバー検層など			
	D 調査技術の理解度	調査技術の理解度	土・岩の性質、地質踏査、調査の目的・計画、調査結果の適用と解釈、資料のまとめ方など	6	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（地質調査コース）（土質試験コースおよび物理探査コースの一部）で出題してきたジャンル「D. 調査技術の理解度」の問題に相当する。
		室内試験の理解度	圧密理論や液状化などの基礎理論、各種試験から得られる物性・変形係数、乱れた試料による一軸圧縮試験、三軸圧縮試験の結果、データ整理、など	3	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（土質試験コース）で出題してきたジャンル「D. 調査技術の理解度」の土質試験関係の問題に相当する。
		物理探査の理解度	探査の適用範囲・精度、探査の目的と探査法の選定など	3	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（物理探査コース）で出題してきたジャンル「D. 調査技術の理解度」の物理探査関係の問題に相当する。
	E 解析手法、設計・ 施工への適用	地質調査	地すべりの安定解析、地震応答解析、浸透流解析、圧密沈下、液状化、有限要素法、設計・施工の基礎知識など	6	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（地質調査コース）（土質試験コースおよび物理探査コースの一部）で出題してきたジャンル「E. 解析、設計・施工への適用」の問題に相当する。
		室内試験	室内試験結果の解釈と解析業務・設計、施工への利用	3	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（土質試験コース）で出題してきたジャンル「E. 解析、設計・施工への適用」の物理探査関係の問題に相当する。
		物理探査	物理探査・検層の解釈、設計・施工への適用など	3	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（物理探査コース）で出題してきたジャンル「E. 解析、設計・施工への適用」の物理探査関係の問題に相当する。
	F 管理技法	地質調査	法規、渉外、安全管理、工程管理、積算など	6	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（地質調査コース）（土質試験コースおよび物理探査コースの一部）で出題してきたジャンル「F. 管理技法」の問題に相当する。
土質試験		試料・薬品の取扱い、試験回数、試験器具の維持管理・検定、規格基準など	2	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（土質試験コース）で出題してきたジャンル「F. 管理技法」の物理探査関係の問題に相当する。	
物理探査		火薬類管理、振動、騒音、放射線関連など	2	（従来通りの要領で出題） ※ 当ジャンルの問題は、過去、現場技術・管理部門（物理探査コース）で出題してきたジャンル「F. 管理技法」の物理探査関係の問題に相当する。	
		マークシート合計	100問	※従来よりも20問増	
記述式問題	簡易記述式	—	—	※H26年度まで、「午前部」で出題してきた当ジャンルは、H27年度より出題なし	
	論述式	必須問題1問＋選択問題（4問中1問選択）＝計2問解答 ※出題ジャンル 必須問題＝技術者倫理、 選択問題＝土質、岩盤、土質試験、物理探査	2	（従来通りの要領で出題） 600文字以内で解答	

（土壌・地下水汚染部門 出題ジャンル表）

※出題内容および出題数は、目安です。試験当日の問題では、多少変更している場合があります。

	出題ジャンル		出題内容	出題数	その他	
	大分類	中・小分類				
マークシート問題	A 社会一般・建設行政等	社会一般・建設行政等	地質調査技士資格制度、技術者継続教育制度、技術者倫理、地質調査業の経営・営業関連法令、電子納品要領、土壌・地下水汚染に関連した法令、産業廃棄物関連法令、ISO、社会資本整備に関連した法令など	6	(従来通りの要領で出題) ※当ジャンルの問題は、平成26年度以前における土壌・地下水汚染部門の出題ジャンル「A.社会一般・環境行政等」に相当する。	
		入札・契約制度、仕様書等	発注方式、仕様書、テクリス、委託契約約款、瑕疵担保、守秘義務など			
		環境行政	土壌地下水汚染の歴史と現状	土壌・地下水汚染の歴史・現状、原因行為など		10
			環境法令	環境基本法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法など		
	土壌汚染対策法		法の概要・背景、土壌汚染状況調査、区域の指定等、自然由来特例区域、埋立地特例・管理区域、指定の申請、指定調査機関など			
	B 地質・測量・土木・建築等の知識	地質	断層分類、地理・地形、岩石・鉱物、地震、地史、火山など	5	(従来通りの要領で出題) ※当ジャンルの問題は、平成26年度以前における土壌・地下水汚染部門の出題ジャンル「B.地質、土木、化学等」に相当する。	
		測量	測量の基本、GIS・GPS、ボーリング地点の緯度経度など			
		土木・建築一般	構造物基礎、地下水位、防災、環境、液状化、地すべり、ボーリング、トンネル、ダムなど			
		汚染物質の特徴	重金属、油類、農薬、PCB、揮発性有機化合物、ダイオキシン類など	9		
	C 現場・専門技術の知識	ボーリング基礎	ボーリング機械、運搬・仮設	ボーリング機器の名称・構造、原理・機能、作業計画、運搬、仮設など	24	(従来通りの要領で出題) ※当ジャンルの問題は、平成26年度以前における土壌・地下水汚染部門の出題ジャンル「C.現場技術」に相当する。
			掘進技術	掘削原理・能率、掘進作業、コアリング、保孔、さく井、工専用ボーリングなど		
		サンプリング・原位置試験等		標準貫入試験、サンプリング、孔内水平載荷試験、透水試験、揚水試験、間隙水圧測定、孔内検層など		
		試料判別		土・岩の判別分類、記録の記載・表示方法など		
		土壌地下水	土壌汚染状況調査	調査の手順、地歴調査とおそれの区分、試料採取等区画の選定、試料採取等、第5条調査の特例、調査結果の評価など	14	
詳細調査と認定調査（汚染の除去などのための調査）			詳細・認定調査、調査結果の評価など			
現場技術（サンプリング）	土壌ガス調査と地下水調査、表層土壌採取、ボーリング調査、地下水試料採取など					
D 調査技術の理解度	調査技術の理解度		地質踏査、弾性波探査、電気探査、調査の目的・計画、調査結果の適用と解釈、資料のまとめ方、土質試験・岩石試験の概要、地すべりの安定解析、地震応答解析、浸透流解析、圧密沈下、液状化、有限要素法などなど	6	(従来通りの要領で出題) ※当ジャンルの問題は、平成26年度以前における土壌・地下水汚染部門の出題ジャンル「D.地盤解析、修復技術等」に相当する。	
	土壌地下水	汚染の除去等の措置	指示措置、地下水・直接摂取によるリスクに係る措置、要措置区域等の指定の解除・形質の変更、汚染土壌の搬出と処理業など	13		
E 管理技法	地質調査		法規、渉外、安全管理、工程管理、積算など	5	(従来通りの要領で出題) ※当ジャンルの問題は、平成26年度以前における土壌・地下水汚染部門の出題ジャンル「E.管理技法」に相当する。	
	土壌地下水	作業の安全確保	法規、安全確保器具、安全管理体制、オンサイト措置・原位置措置を実施するうえでの留意事項など	8		
		周辺環境への配慮				
			マークシート合計	100	※従来と同じ出題数	
記述式問題	論述式		必須問題1問＋選択問題（3問中1問選択）＝計2問解答 ※出題ジャンル 必須問題＝技術者倫理、 選択問題＝土壌汚染調査の実務全般	2	(従来通りの要領で出題) 600文字以内で解答	